

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年12月14日

【四半期会計期間】 第29期第3四半期(自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日)

【会社名】 株式会社アルデプロ

【英訳名】 ARDEPRO Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 椎 塚 裕 一

【本店の所在の場所】 東京都新宿区新宿三丁目1番24号

【電話番号】 03(5367)2001 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員社長室長 荻 坂 昌 次 郎

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区新宿三丁目1番24号

【電話番号】 03(5367)2001 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員社長室長 荻 坂 昌 次 郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成28年6月14日に提出いたしました第29期第3四半期（自平成28年2月1日至平成28年4月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

注記事項

(株主資本等関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

(省略)

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産は、153億9百万円(前連結会計年度末は158億71百万円)となりました。主な内訳としては、現金及び預金が28億74百万円(同51億41百万円)、販売用不動産が105億73百万円(同99億26百万円)などであります。

(固定資産)

当第3四半期連結累計期間末における固定資産は、8億69百万円(同71百万円)となりました。主な内訳としては、関係会社株式が6億14百万円(同7百万円)であります。

(流動負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債は、81億15百万円(同75億29百万円)となりました。主な内訳としては、短期借入金が63億95百万円(同66億10百万円)であります。

(固定負債)

当第3四半期連結累計期間末における固定負債は、47億56百万円(同40億28百万円)となりました。主な内訳としては、転換社債型新株予約権付社債が37億円(同40億円)、長期借入金が10億47百万円(同21百万円)であります。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、33億6百万円(同43億83百万円)となりました。主な内訳としては、資本金が5億50百万円、資本準備金が10億50百万円、利益剰余金が42億89百万円、自己株式が26億76百万円であります。以上の結果、自己資本比率は19.9%となりました。

(以下、省略)

(訂正後)

(1) 業績の状況

(省略)

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産は、153億9百万円(前連結会計年度末は158億71百万円)となりました。主な内訳としては、現金及び預金が28億74百万円(同51億41百万円)、販売用不動産が105億73百万円(同99億26百万円)などであります。

(固定資産)

当第3四半期連結累計期間末における固定資産は、8億69百万円(同71百万円)となりました。主な内訳としては、関係会社株式が6億14百万円(同7百万円)であります。

(流動負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債は、81億15百万円(同75億29百万円)となりました。主な内訳としては、短期借入金が63億95百万円(同66億10百万円)であります。

(固定負債)

当第3四半期連結累計期間末における固定負債は、47億56百万円(同40億28百万円)となりました。主な内訳としては、転換社債型新株予約権付社債が37億円(同40億円)、長期借入金が10億47百万円(同21百万円)であります。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、33億6百万円(同43億83百万円)となりました。主な内訳としては、資本金が5億50百万円、資本準備金が10億50百万円、利益剰余金が24億17百万円、自己株式が8億4百万円です。以上の結果、自己資本比率は19.9%となりました。

(以下、省略)

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,141,612	2,874,277
受取手形及び売掛金	24,269	-
販売用不動産	9,926,879	10,573,861
預け金	420,000	600,220
前渡金	119,585	470,000
その他	238,907	790,935
流動資産合計	15,871,254	15,309,295
固定資産		
有形固定資産	14,258	12,524
無形固定資産	307	575
投資その他の資産	56,883	856,435
固定資産合計	71,448	869,535
資産合計	15,942,703	16,178,831
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,808	-
短期借入金	6,610,297	6,395,600
1年内返済予定の長期借入金	256,444	72,972
未払金	112,500	409,862
未払費用	29,506	31,432
賞与引当金	-	6,516
未払法人税等	5,503	219,157
その他	507,911	980,024
流動負債合計	7,529,970	8,115,565
固定負債		
新株予約権付社債	4,000,000	3,700,000
長期借入金	21,178	1,047,533
退職給付に係る負債	6,354	8,883
その他	1,316	-
固定負債合計	4,028,848	4,756,416
負債合計	11,558,818	12,871,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,018	550,018
資本剰余金	1,050,018	1,050,018
利益剰余金	2,995,802	4,289,820
自己株式	305,597	2,676,649
株主資本合計	4,290,241	3,213,206
新株予約権	93,642	93,642
純資産合計	4,383,884	3,306,849
負債純資産合計	15,942,703	16,178,831

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,141,612	2,874,277
受取手形及び売掛金	24,269	-
販売用不動産	9,926,879	10,573,861
預け金	420,000	600,220
前渡金	119,585	470,000
その他	238,907	790,935
流動資産合計	15,871,254	15,309,295
固定資産		
有形固定資産	14,258	12,524
無形固定資産	307	575
投資その他の資産	56,883	856,435
固定資産合計	71,448	869,535
資産合計	15,942,703	16,178,831
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,808	-
短期借入金	6,610,297	6,395,600
1年内返済予定の長期借入金	256,444	72,972
未払金	112,500	409,862
未払費用	29,506	31,432
賞与引当金	-	6,516
未払法人税等	5,503	219,157
その他	507,911	980,024
流動負債合計	7,529,970	8,115,565
固定負債		
新株予約権付社債	4,000,000	3,700,000
長期借入金	21,178	1,047,533
退職給付に係る負債	6,354	8,883
その他	1,316	-
固定負債合計	4,028,848	4,756,416
負債合計	11,558,818	12,871,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,018	550,018
資本剰余金	1,050,018	1,050,018
利益剰余金	2,995,802	2,417,220
自己株式	305,597	804,049
株主資本合計	4,290,241	3,213,206
新株予約権	93,642	93,642
純資産合計	4,383,884	3,306,849
負債純資産合計	15,942,703	16,178,831

【注記事項】

(株主資本等関係)

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成27年4月30日)

(省略)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)

(省略)

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年4月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式(普通株式)7,000,000株の取得を行いました。また、A種優先株式の金銭を対価とする取得請求権の請求により自己株式(A種優先株式)908株の取得を行い、さらに、平成27年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式(A種優先株式)5,334株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,371,052千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,676,649千円となっております。

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成27年4月30日)

(省略)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)

(省略)

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年4月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式(普通株式)7,000,000株の取得を行いました。また、A種優先株式の金銭を対価とする取得請求権の請求により自己株式(A種優先株式)908株の取得を行い、さらに、平成27年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式(A種優先株式)5,334株の取得を行いました。なお、取得したA種優先株式908株は平成27年11月12日付で、5,334株は平成28年1月20日付で消却しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,371,052千円増加しましたが、A種優先株式の消却により、利益剰余金および自己株式がそれぞれ1,872,600千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,417,220千円、自己株式が804,049千円となっております。